



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社NFKホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6494 URL http://www.nfk-hd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 陽介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 古池 政巳 (TEL) 045(575)8000  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,486	67.7	19	—	6	—	2	—
28年3月期第2四半期	886	△37.1	△133	—	△133	—	△137	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 4百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △157百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	0.08	—
28年3月期第2四半期	△4.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,265	2,865	67.2
28年3月期	3,864	2,860	74.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 2,865百万円 28年3月期 2,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	46.8	120	—	120	—	100	—	3.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	30,713,342株	28年3月期	30,713,342株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	416株	28年3月期	416株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	30,712,926株	28年3月期2Q	30,712,934株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に、企業業績や雇用・所得環境の改善が継続し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし、その一方で、中国をはじめとした新興諸国の景気減速や英国の欧州連合(EU)からの離脱決定など、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、平成26年4月にスタートさせた「16中期経営計画」に基づき、燃焼装置関連事業の海外展開強化、市場ニーズに対応した新製品開発、国内基盤固め及びトータル原価の削減に向けて様々な施策を実行してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高14億8千6百万円(前年同四半期比67.7%増)、営業利益1千9百万円(前年同四半期は営業損失1億3千3百万円)、経常利益6百万円(前年同四半期は経常損失1億3千3百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億3千7百万円)となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 工業炉燃焼装置関連

工業炉燃焼装置関連事業につきましては、前連結会計年度に受注した大型案件等が順調に進捗したことなどから、当第2四半期連結累計期間の売上高は14億8千5百万円(前年同四半期比67.8%増)、営業損失は2千4百万円(前年同四半期は営業損失1億7千万円)となりました。

#### ② その他

その他の事業につきましては、各子会社からの配当収入、不動産賃貸収入、経営指導料等が収益の中心となっております。当第2四半期連結累計期間の売上高は1億4千5百万円(前年同四半期比0.2%減)、営業利益は1億3千4百万円(前年同四半期比2.3%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債、純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて10.4%増加し、42億6千5百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて18.2%増加し、32億5千万円となりました。主な内訳としては現金及び預金が2億3百万円の減少となったこと、受取手形及び売掛金が4億2千8百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて9.0%減少し、10億1千4百万円となりました。主な内訳としては投資その他の資産が9千6百万円減少したことなどによります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べて39.4%増加し、13億9千9百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて65.8%増加し、10億8百万円となりました。主な内訳としては支払手形及び買掛金が4億1千1百万円の増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、3億9千1百万円となりました。

##### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、28億6千5百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円を計上したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して3億4百万円減少し、15億1千3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー及びその主要な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、2億8千7百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益6百万円、減価償却費の計上1千1百万円、売上債権の増加額4億2千8百万円、仕入債務の増加額4億1千1百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4百万円となりました。これは主として有形及び無形固定資産の取得による支出7百万円、投資有価証券の取得による支出2百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、9百万円となりました。これは短期借入金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成28年5月13日公表の「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」から修正は行っていません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,821,010	1,617,663
受取手形及び売掛金	529,328	958,146
仕掛品	186,183	230,633
原材料及び貯蔵品	153,998	163,305
その他	59,047	280,619
流動資産合計	2,749,568	3,250,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	89,541	85,897
機械装置及び運搬具(純額)	50,015	50,859
土地	703,022	703,022
その他(純額)	6,952	6,571
有形固定資産合計	849,531	846,350
無形固定資産		
ソフトウェア	4,579	3,280
無形固定資産合計	4,579	3,280
投資その他の資産		
投資有価証券	108,792	118,658
破産更生債権等	28,850	28,550
その他	187,221	81,243
貸倒引当金	△63,737	△63,437
投資その他の資産合計	261,125	165,014
固定資産合計	1,115,237	1,014,645
資産合計	3,864,806	4,265,013

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	230,607	641,755
短期借入金	10,400	20,100
未払法人税等	8,163	10,720
賞与引当金	37,692	37,245
完成工事補償引当金	1,062	1,929
前受金	65,943	19,610
その他	254,366	276,933
流動負債合計	608,236	1,008,295
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	196,601	196,601
役員退職慰労引当金	20,583	20,583
退職給付に係る負債	176,310	171,459
その他	2,544	2,576
固定負債合計	396,040	391,220
負債合計	1,004,276	1,399,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,532	2,131,532
資本剰余金	40,280	40,280
利益剰余金	247,475	249,852
自己株式	△210	△210
株主資本合計	2,419,077	2,421,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,064	△1,567
繰延ヘッジ損益	-	△905
土地再評価差額金	446,516	446,516
その他の包括利益累計額合計	441,452	444,043
純資産合計	2,860,529	2,865,497
負債純資産合計	3,864,806	4,265,013

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	886,310	1,486,538
売上原価	696,085	1,169,485
売上総利益	190,224	317,053
販売費及び一般管理費	323,571	297,266
営業利益又は営業損失(△)	△133,346	19,786
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,605	1,963
仕入割引	482	850
持分法による投資利益	-	3,822
貸倒引当金戻入額	300	300
その他	636	2,124
営業外収益合計	3,024	9,061
営業外費用		
支払利息	126	132
持分法による投資損失	1,019	-
為替差損	2,280	21,862
その他	22	112
営業外費用合計	3,448	22,107
経常利益又は経常損失(△)	△133,770	6,740
特別利益		
保険解約益	713	-
特別利益合計	713	-
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△133,056	6,740
法人税、住民税及び事業税	4,780	4,364
法人税等合計	4,780	4,364
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△137,837	2,376
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△137,837	2,376



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△137,837	2,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,416	3,496
繰延ヘッジ損益	-	△905
その他の包括利益合計	△19,416	2,591
四半期包括利益	△157,253	4,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△157,253	4,967
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	△133,056	6,740
減価償却費	12,513	11,290
為替差損益(△は益)	2,252	22,069
保険解約損益(△は益)	△713	-
固定資産除却損	0	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△300	△300
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,416	△4,851
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,913	△447
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	2,729	867
受取利息及び受取配当金	△1,605	△1,963
支払利息	126	132
持分法による投資損益(△は益)	1,019	△3,822
売上債権の増減額(△は増加)	220,807	△428,817
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17,377	△53,755
仕入債務の増減額(△は減少)	△240,993	411,148
前受金の増減額(△は減少)	△10,369	△46,333
その他	99,987	△203,408
小計	△77,311	△291,451
利息及び配当金の受取額	1,605	1,963
利息の支払額	△129	△133
法人税等の支払額	△10,558	△4,464
法人税等の還付額	5,899	6,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	△80,494	△287,613
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△1,222	△1,223
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,056	△7,018
投資有価証券の取得による支出	△2,179	△2,547
貸付金の回収による収入	165	168
保険積立金の解約による収入	1,526	2,707
その他	△819	3,598
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,585	△4,313
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,300	9,700
自己株式の取得による支出	△3	-
配当金の支払額	△30,712	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,416	9,700
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,252	△22,069
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△118,748	△304,295
現金及び現金同等物の期首残高	1,750,130	1,817,305
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,631,381	1,513,009

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	工業炉燃焼装置 関連	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	885,410	900	886,310	—	886,310
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	145,138	145,138	△145,138	—
計	885,410	146,038	1,031,448	△145,138	886,310
セグメント利益又は損失(△)	△170,748	131,285	△39,463	△93,882	△133,346

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△93,882千円には、セグメント間取引消去△538千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△93,344千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	工業炉燃焼装置 関連	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,485,638	900	1,486,538	—	1,486,538
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	144,800	144,800	△144,800	—
計	1,485,638	145,700	1,631,338	△144,800	1,486,538
セグメント利益又は損失(△)	△24,327	134,242	109,915	△90,128	19,786

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△90,128千円には、セグメント間取引消去△200千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,928千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。